

歓迎の言葉

小名浜の海から吹く暖かな潮風が頬を撫で、桜の花が美しく咲き誇る季節となりました。この佳き日に、小名浜第二中学校に入学された八十名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんのご入学を心待ちにしていました。

真新しい制服に身を包んだ皆さんは、これから始まる中学校生活への期待で胸が高まっていることでしょう。一方で、「勉強についていけなかったらどうしよう」「部活と勉強を上手く両立できるかな」などといった不安や悩みも抱えていることと思います。でも大丈夫です。私たちも二年前、皆さんと同じように緊張しながら校門をくぐり、この体育館に足を踏み入れました。これからうまくやっていけるだろうか、という大きな不安に押しつぶされそうになりながらも、今ではこうしてたくさんの方の大切な友達、優しい先生方に囲まれて、毎日とても楽しく、充実した学校生活を送ることができています。今日は、皆さんの不安を少しでも軽くできるよう、これから始まる中学校生活についていくつかお話ししたいと思います。

ます。

中学校の勉強は、教科ごとに先生が違ったり、定期テストがあったりして、初めは戸惑いを感じるかもしれませんが。でもすぐに慣れてくるので大丈夫です。専門の先生方から学ぶ授業はとても楽しく、テストも自分の力を高めるよい機会になります。ぜひ自分に合った方法を見つけ、勉強に励んでください。

そして中学生になると、皆さんも楽しみにしているであろう部活動が始まります。運動部も文化部も、一人ひとりが自分の力を高めるために一生懸命取り組んでいます。部活動を通して得られるものは、仲間との絆と決して諦めない忍耐力です。時には逃げ出したくなることや、辞めてしまいたくなることもあるかと思います。ですが、そんな時こそ心強い仲間と協力し、助け合って乗り越えていきましょう。そのようにしてたくさんの経験をすることで、皆さんにとって部活動は今までにないかけがえのない思い出になると思います。

また、学校行事も大きな魅力です。特に潮音祭と呼ばれる文化祭は、全校生徒が一丸となって取り

組む一年で最も大きな行事で、青春そのものです。学級の絆が深まる合唱、生徒会役員や実行委員が中心となって作り上げるオープニング、クロージングセレモニー。準備から本番まで自分たちで考えやり遂げることで、仲間と支え合う喜びと達成感を存分に味わうことができます。

今日からの三年間は、皆さんが思っているよりもあっという間に過ぎ去っていくでしょう。中学校で過ごす一日一日を、大切に噛み締めてください。毎日の生活で感じたこと、部活動を通して得た経験、学校行事での思い出、先生方とのやり取り、そんな大切な日々を忘れないように心に留めてください。それらは、皆さんが今後社会で活躍していく中で、きっと大きな支えになると思います。これからの三年間、勉強も部活動も思い切り楽しんで、充実した生活を送っていきましょう。

最後になりますが、皆さんの中学校生活が笑顔の絶えない、輝かしいものとなることを心より願い、歓迎の言葉といたします。

令和六年四月八日 在校生代表